

山口近代建築研究会

山口近代建築研究会ニュースレター

足立裕司氏 講演会 3/10日開催！

県民の皆さんに、近代建築の魅力について広く知っていただく目的で開催している「山口近代建築セミナー」も、今年で5回目を迎えます。

今回は、近代建築史がご専門で、山口県旧庁舎を設計した、建築家・武田五一研究の第一人者でもある、神戸大学の足立裕司先生をお招きしました。先生は、今回の講演に向け、次のように話されています。

「武田五一という建築家の足跡を調べていると、日本の近代建築の様々なエポックに関わり、また多くの先駆的な活動を見て取ることができます。しかし、日本の近代建築のゴールをもしモダニズムの確立ということにおくなら、武田五一という建築家の試みも、結局は過渡的な提案に過ぎなかったと見なされるでしょう。今回の講演では、そうした目標をひとつに定めたような歴史としてではなく、可能性の歴史として再考してみたいと考えて

います。

つまり、武田五一という建築家が、その時代に何を提案しようとしたのか、その提案はどこに向かい、今の私たち

にどのような影響を及ぼしているのか、もう一度振り返ってみたいと思います。明治期になって日本が先進国家を見習い、それに追いつくためにどうしても乗り越えなければならなかった過去の日本と、その過去を再構成した世代として武田五一を捉えるなら、彼の住宅への寄与や日本の伝統への着眼と提案は興味深い発想を含んでいるように思われます。」



▲足立裕司先生

今回は、武田五一と日本の近代建築の関わりがテーマです。武田がデザインした山口県旧県会議事堂の華麗な議場空間で、私たちの山口県庁舎がどのような背景で誕生したのか、当時の建築家の思いと試みなどを、多くの人々に感じ取っていただきたいと思います。

足立裕司氏略歴

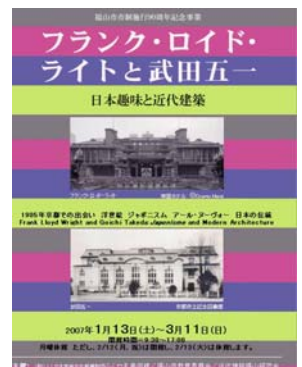
- あだちひろし
- 1949年生まれ、1972年神戸大学工学部卒、修士課程、設計事務所勤務を経て、1977年より同大学にて研究・教育活動に従事、1998年より現職。共著書に『武田五一・人と作品』（明治村）『日本の眼と空間』（共著、セゾン美術館）、『阪神・淡路大震災調査報告書 建築編8』（日本建築学会、1999年）、『栄光の残像』（出版社澤、企画・著、2000年）、『関西のモダニズム建築20選』（共著、淡交社、2001年）他／平賀邸、九鬼邸、山口誓子記念館などの歴史的建造物の復元・修復工事なども手がけている。

●目次

足立先生講演会	1
近代建築研究会活動	2
定例研究会	2
近代建築セミナー	2
長谷川堯氏講演会	3
近代建築研究Vol.4	3
西日本新聞連載	4

フランク・ロイド・ライトと武田五一

アメリカの生んだ世界的建築家フランク・ロイド・ライトと、武田五一との関係を示す展覧会が今、お隣の広島県福山市にある「ふくやま美術館」で開催されています。（3/11日まで）ライトの代表的建築「帝国ホテル」や「自由学園」、武田五一の「旧福山市役所」などの建築模型や図面、家具、資料など約180点が紹介されています。またこれにあわせ、鈴木博之氏（東京大学教授）、谷川正己氏（フランク・ロイド・ライト研究室主宰）、足立裕司氏（神戸大学教授）らの講演会が開催されました。



第5回山口近代建築セミナー

■ 定例研究会の実施～山口の地域文化財の発掘～

セミナーパークや菜香亭で毎月開催される研究会は、すでに39回。毎回、近代建築に関する各会員の研究成果の発表や現地視察の報告で進められます。豊富な資料と共に、液晶プロジェクターなどを活用して進められ、これまでの成果としては以下のようなものがあります。

- ①山口県旧県会議事堂の修復工事を軸に、この保存修理の技術や実態、また土管や暖房器具等、工事途中に発見された様々な文化財の紹介。
- ②山口県旧庁舎の設計者である大蔵省臨時建築部、建築家・武田五一などとの関わり。また当時の工事を支えた山口県の建築技術者たちの追跡調査。
- ③県内の各地域に存在する近代建築の研究や活用方策について。1)新南陽・日下医院、2)岩国・水西書院、3)岩国青年の家（旧吉川家岩国事務所、堀口捨巳設計）4)旧宇部銀行（村野藤吾設計）、5)JA防府とくち華城支所など。
- ④これまで表に出なかった山口県関係の建築家たちの追求。1)ちまきやの設計者・熊澤栄太郎、2)下関・丸山教会の設計者・潮見長彦、3)C.S.赤レンガの設計者・藤本勝往、3)春日山庁舎（旧山口図書館）の設計者・木下潔など。
- ⑤近年解体された近代建築の記録。1)山口大学経済学部職員宿舍3号（旧上野邸）、2)宇部工業倶楽部のデジタルデータ保存、3)徳山小学校講堂など。
- ⑥山口の近代建築の語り部・中川先生の歴史のお話など。



▲第39回研究会風景
(2007.02.24/菜香亭)

■ 定例研究会の実施～楽しみな視察報告～

さらに、研究会会員が全国各地を訪れて視察した近代建築の報告も楽しみの一つです。時には、海外の近代建築についても報告があります。プロジェクターに写し出される画像はきれいで迫力があります。

- ①武田五一の設計した建物を追って
求道会館（東京本郷）、千葉トヨペット（千葉）、西尾邸（大阪）、京都府立図書館・順正清水店・京都帝国大学本館など（京都）
- ②明治・大正期の設計者の建物を追って
岩崎邸・古河邸（コンドル）、東京駅（辰野金吾）、築地本願寺（伊東忠太）、東京女子大学（アントニー・レーモンド）、帝国ホテル・自由学園（F.L.ライト）、誠之堂（田辺淳吉）、蒲郡ホテル（久野節）
- ③各地の近代建築めぐり
郡山と那須野の近代建築、明治村視察報告、新潟建築めぐり、東京西洋館巡り、北海道の近代化遺産あれこれ
- ④懐かしい町並みを追って
竹富島の風景（沖縄）、石見銀山の風景（島根）、篠山の歴史的町並み（兵庫）
- ⑤海外の近代建築や町並み
上海、ウィーン、ドイツ、シカゴなど



旧帝国ホテル（明治村へ移築）
(F.L.ライト設計)

■ 山口近代建築セミナーの実施

私たちの活動のもうひとつの柱として、「山口近代建築セミナー」の実施があります。県民の皆さんに、近代建築保存や活用について広く知っていただく目的で開催しているものです。これまで四人の著名な先生方にご講演いただきました。

- 第1回
〔日時〕平成15年3月1日（土）
○基調講演「近代建築保存・再生の現在」
石田潤一郎氏（京都工織大学教授）
- 第2回
〔日時〕平成16年3月6日（土）

- 基調講演「山口県庁舎及び県会議事堂と明治大正の建築家」堀勇良氏（文化庁）
- 第3回
〔日時〕平成17年4月2日（土）
○基調講演「建築保存の歩みと現在」
藤森照信氏（東京大学教授）
- 第4回
〔日時〕平成18年3月11日（土）
○基調講演「近代建築と歴史」
長谷川堯氏（武蔵野美術大学教授）
先生方のご講演内容は、「山口近代建築研究」に記録しています。



▲講演される藤森先生
(2005.04.02/県会議事堂議場)

第5回山口近代建築セミナー

■ 長谷川氏講演会「近代建築と歴史」

平成18年3月11日（土）、山口県旧県会議事堂復原竣工一周年を記念して、長谷川堯氏（武蔵野美術大学教授・近代建築史家）による記念講演会を開催しました。

長谷川先生は、山口県旧県庁舎の保存を昭和40年代からなどの著作で逸早く訴えてこられ、『建築の生と死』などの著作でも全国的に知られた方です。

壇上に立たれた先生は、30年前の保存活動を振り返られ、「私がここにこうしてまさかこんな形で、保存を呼びかけた建物の中で、また山口の皆さんを前にして、お話ができるということに対して、嬉しいというか、非常に感動しているというか、光栄に思っております。」と、感激の面持ちで話されました。

その後、県庁舎保存に揺れた頃を回顧されながら、この建物が残った当時の運動の連携の良さ等を評価されました。そして、過去を全否定するモダニズムの画一的な建築観に対し、武田五一や村野藤吾は、過去の歴史を大事にしていたこと、図式でいうと、「ダルマ落しの歴史観」から「チューブ的歴史観」を持つことの大切さ、また、過去が現在に打ち寄せる波のように、いつでも現在に顔を出し、未来もまた同時に顔を出しているような、そういうものの造り方をしていくべきであること、等を強調されました。

講演で用意された武田や村野に関するスライドは200枚以上もあり、いずれもとても興味深いもので、ていねいな解説と共に二人の巨匠の作品を堪能しました。



▲講演される長谷川先生
(たいへん感激されていました。)



▲県庁舎の保存運動を一緒にされたご婦人方があいさつに来られた

■ 活動報告書「山口近代建築研究」の発行

以上のような、私たちの研究活動や資料を、毎年1冊の報告書にまとめています。もちろん、近代建築セミナーでの各講師の講演内容もすべて記録しています。現在まで、第4号を発行。因みに、第4号は以下のような構成で、11人の寄稿からなっています。

第1部 山口近代建築講演会長谷川氏「近代建築と歴史」記録

第2部 研究会会員研究紹介

(1) JA防府とくち華城支所について（水井・浅川・原田・福田）

(2) 吉香神社能舞台（福田東亜）

(3) 建築の類似（原田正彦）

(4) 旧県立図書館・防長先賢堂の設計者を探る（浅川均）

(5) 唐戸地区近代建築ツアー（十河義典）

(6) 「やまぐち近代建築探偵」掲載リスト

(7) 重要文化財・旧開智学校の保存修復（木村和夫）※特別寄稿

部数は300部。山口建築士会（山口市大手町3番8号/083-922-5114）にて、無料で配布しております。



▲山口近代建築研究第4号
(A4版/全95ページ)

■ 下関・唐戸地区近代建築ツアーを実施

平成18年10月21日（土）、下関市唐戸地区にある、国の重要文化財「旧下関英国領事館」が竣工100年を迎えたのを記念して、鈴木博之氏（東京大学教授）による近代建築講演会（下関市主催）が行われました。あわせて、山口近代建築研究会では、山口県建築士会下関支部青年部の協力のもと「唐戸地区近代建築 ツアー」を開催しました。9時に旧下関領事館前に集合、手順説明の後、下記のようなコースをたどり、全部で7つの近代建築を巡りました。

1.旧下関領事館→2.秋田商会→3.南部郵便局→4.山口銀行旧本店→5.労働金庫下関支

店→6.ロダン美容室→7.旧通信省下関郵便局電話課庁舎

途中、各建築の内外で、会員による建物の見どころ説明を行い、その後準備した名(迷?)クイズに答えていただきながら、ツアーは和気藹々、楽しく進みました。最後の旧通信省下関郵便局電話課庁舎前で、クイズ回答を行い、満点者が2名も出たことには、私たちもびっくりでした。参加者は30名でした。

なお、この模様は、「山口近代建築研究Vol.4」にも詳しく掲載しております。



▲近代建築ツアーの模様
(ロダン美容室前で/2006.10.21)



主催：山口近代建築研究会

山口近代建築研究会

事務局：
山口市小郡下郷507-8 原田正彦
電話 083 (973) 1599
Fax 083 (973) 1599
Email yuri@mxt.mesh.ne.jp

建築から町の歴史が見えてくる

ホームページ

<http://www.sujet.co.jp/matiyoso/>

山口近代建築研究会は、山口県内外の近代建築、近代化遺産を探り、現代に活用する方策を検討する目的で結成された研究会です。2002年7月発足以来、毎月1回の定例研究会をかかさず実施してきました。元大学教授の福田東亜氏を代表に、県職員、市職員、大学関係者、民間会社員などからなり、現在会員数17名です。

これまで、講演会、近代建築ツアー、報告書の発行、新聞連載等様々な活動を実施してきました。

近代建築や近代化遺産、また懐かしい風景や景観を守る活動に興味がある方、お気軽にご参加ください！



▲第37回研究会

■「やまぐち近代建築探偵」連載は70回に！

現在、当研究会では、毎週月曜日、西日本新聞の山口版に、「やまぐち近代建築探偵」と称するコーナーに記事を連載中です。平成17年6月20日から、ほぼ二年をかけ、これまで10人の会員が、リレー形式で70回分の記事を執筆してきました。ようやく終盤に向けて追込み中です。

また、これらをA3版にパネル化したものを、昨年2/12日から2/25日まで、山口県都市計画課主催の「景観活動パネル展」(旧県会議事堂1階議院控室)にて展示しました。これまでの主な記事は以下のとおりです。

プロローグ (6/20原田) / 山口県旧県庁舎 (6/27原田) / 下関領事館 (7/18高月) / 秋田商会 (7/25高月) / 小野田セメント山手倶楽部 (8/22瀬口) / 岩国徴古館 (9/16福田) / 四階荘 (10/3

十河) / 河村写真館 (10/10浅川) / 宇部市渡辺翁記念会館 (10/31佐々木) / 旧日下医院 (11/21山崎) / 春日山庁舎 (11/28水井) / 山口銀行旧本店 (1/9福田) / 旧殿居郵便局 (1/23十河) / 滝部小学校 (1/30高月) / 武徳殿 (3/6原田) / 角島灯台 (5/22水井) / 宇部銀行(原田) / 旧寺内文庫(7/31福田) / 旧不動貯蓄銀行下関支店(8/21十河) / 南部郵便局(9/4高月) / 徳利釜(10/2瀬口) / 昭和大樋門(11/20中川) / JA防府とくち華城支所(11/27水井) / 錦川橋梁(12/18浅川) / 明新小学校講堂(1/29十河)

かつて朝日新聞社山口支局にいらしゃった松葉一清さんが連載された『山口建築ノート』(昭和54年発行)を目標に、私たちの連載は今年4月いっぱいまで続ける予定です。



▲近代建築探偵第50回(十河)